

新型インフルエンザとタミフル

院長

最近、新型インフルエンザとタミフルの話題がニュースで取上げられています。

厚生労働省は10月28日に、「新型インフルエンザ対策推進本部」を設置しました。理由としては、東南アジアだけでなく、欧州やカナダで鳥インフルエンザが発生し、感染の拡大が心配されること、人への感染が増加していること、WHOが各国に新型インフルエンザに対する行動計画の作成を求めていることがあります。

新型インフルエンザは、鳥インフルエンザの広がり大きく関係していると言われていています。現在のところ鳥インフルエンザは、濃厚な接触により感染する場合がありますが、幸いなことに人から人への感染はありません。この人から人へ感染するようになるのが、新型ウイルスなのです。このウイルスは中間宿主である豚の体内で、鳥インフルエンザウイルスと人インフルエンザウイルスが同時に存在し、変異を起こすことにより発生すると考えられています。鳥インフルエンザに関しては、NEWS 2004年3月号「もう一度、鳥インフルエンザ」を参考に。

新型インフルエンザでもっと大きな問題は、誰もこのウイルスに対する免疫(抗体)を持たないことです。歴史上パンデミックと呼ばれるインフルエンザの大流行は4回あり、これらも新型インフルエンザが原因とされています。1918年頃に流行したスペインかぜでは2000万人以上が死亡し、人類最大の感染症と言われていています。新型インフルエンザが流行した場合、医療機関を受診する外来患者は1686万人、入院患者は43万人、死亡者は10万人にもなるとの予測もあります。

ところで、新型インフルエンザはいつ発生するのでしょうか。WHOの警報フェーズを文末に示しました。現在のところはフェーズ3であり、人の感染があるがすぐに危険というものではないが、いつ人から人への感染が起こっても不思議ではないという時期と考えられています。このような状況から、「新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、新型インフルエンザに対する対策が進められています。しかし、現在のワクチンは全く効果がなく、治療法はタミフルを含む抗インフルエンザ薬ということになります。ワクチンは新型のウイルスが分離されてから6ヶ月の時間がかかること、タミフルの備蓄もほとんど進んでいないのが現状です。

タミフルに関する話題もマスコミを賑わしています。服用による死亡と精神症状です。米国の米食品医薬品局(FDA)がタミフル服用後に日本の子供12人が死亡したと発表しました。これとは別に、男子高校生と男子中学生の精神症状による死亡が報告されています。タミフルとこれらの症例に関しては、全てが副作用と関係があるかどうかは現時点では不明です。インフルエンザの場合、高熱を来すことや特に子どもでは脳が興奮しやすい状況で、様々な精神症状がでることが知られています。また脳炎や脳症の場合は、その症状として精神症状や異常な行動が報告されています。このような副作用は数100万人に1人程度と頻度は高くないので、特別な心配の必要は無さそうです。しかし、原因が明らかでない以上、タミフルの使用には十分な注意が必要です。

最後に、タミフルの流通に関して考えてみましょう。昨年のタミフルの消費量は1165万人でした。今年は1500万人分が準備されているようです。昨年は過去10年間で比較的大きな流行だったので、今年の流行は小規模との予想が多いようです。となると、昨年以上の供給量があるので、不足の心配はあまりないと思います。但、今後新型インフルエンザが出現するようであれば大きな問題です。インフルエンザが流行すると肺炎による死亡が増えますが、老人以外ではタミフルを使用しなくても大きな問題にはならないはずですが、タミフルの副作用と新型インフルエンザの被害を考えれば、従来型のインフルエンザに対するタミフルの使用は最小限にすることが望ましいものと思います。そのような理由から、高熱がでたからタミフルを使用するという安易な処方方は避けるべきでしょう。

インフルエンザの予防の基本は、規則正しい生活とバランスのとれた栄養です。そして、うがいと手洗いの励行も重要です。そして、もう一つの予防法はマスクです。このような昔からの予防法も取り入れ、従来型のインフルエンザの予防に対するワクチン接種を考慮したいものです。こうやって、新型インフルエンザに対するタミフルの準備を進めていきたいものです。

パンデミック間期	ヒトの感染のリスクは低い	1
動物間に新しい亜型ウイルスが存在するがヒト感染はない	ヒト感染のリスクはより高い	2
パンデミックアラート期	ヒト-ヒト感染は無いが、または極めて限定されている	③
新しい亜型ウイルスによるヒト感染発生	ヒト-ヒト感染が増加している証拠がある	4
	かなりの数のヒト-ヒト感染があることの証拠がある	5
パンデミック期	効率よく持続したヒト-ヒト感染が成立	6

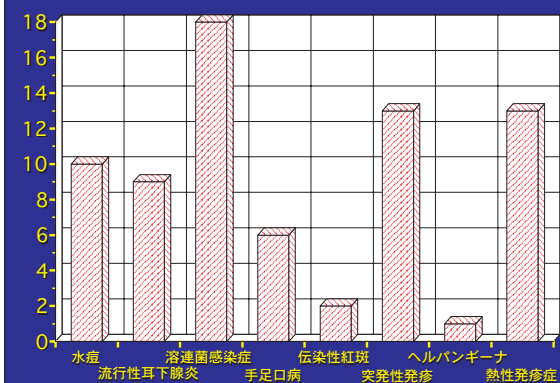
読者の広場

先月は新聞記事の「クレームメール」の影響もあったせいか、44通ものメールを頂きました。励ましのメールなど、本当に癒された一月でした。

先月号にも書きましたが、不快な思いをさせたのは自分であり、反省も必要と考えています。今回の記事のお陰で、改めて多くのお母さんに支えられていることが確認できました。本当にありがとうございます。まずは、遠い遠い錦ヶ丘から通ってくる佐藤さんのメールです。文字制限のある携帯からわざわざ3回にわけて送っていただきました。「先ほどはお世話になりました。佐藤有斗、澗音の母です。今月号の新聞を読ませていただきました。ビックリというか衝撃を受けました。世の中色々な人がいるんですね。何があつたかは詳しくは知りませんが、クリニックには二度と行かないなんてわざわざメールをしてこななくても…気にいらないなら勝手に病院を変えればいいんじゃないかと。私は先生に出会えて本当によかったです。こんなに親身に扱ってくれるクリニックはありません！。メールで悩みや不安を聞いてくれるのも先生だけです。澗音に関してはかなりの病院嫌いなのに先生の所には泣かずに行くことができます。先生はもちろんですが、看護師さんたちも最高です。前に行つてた小児科は看護師はただ立っているだけで何もしてくれず、肝心の医者は何を言ってるかわからず説明もあまりしてくれませんでした。なので初めてクリニックに行つたときは泣きそうになりましたよ。あまりにも素晴らしくて(～▽～)。ですからこれからも通いますよ。唯一の悩みはもう少し近かつたらなあ…。そしたら幼稚園のお母さん達にもっとお勧めできるのに。先生を信頼している患者さんはたくさんいるのですから。お体にお気をつけてこれからもがんばってくださいね。先生に倒れられたら困りますので(*^_^*)。私の携帯は500文字までしか入力や受信ができないんです。失礼しました。それではまた近々お邪魔します(^_^;)」。いや、有り難いですね。3回に分けてまで送ってくれたことで、当院への思いが伝わってきます。ほんと、「そうそう」と思わず相づちを打ちつつ読ませてもらいました。次は記事を知らずに偶然頂いた、横浜に転居した原嶋さんからのメールです。「お久しぶりです。横浜に引越した原嶋昇生と泰生の母です。仙台在住の時は言葉に言い尽くせないほどお世話になりましたm(_)_m。こちらで子供たちは相変わらず喘息治療中ですが、兄の昇生のほうは来春小学一年生、治療下ではぜーぜーすることがなくなってきました。もっとも、朝晩インターバル吸入、オノンをベースに風邪で咳が出ればテオドールにホクナリン、といったがちがちの治療の下で、の話ですが…(^o^;)。でも時期がいいときにはそれらをやめられる時期もあり、やがてすべてやめられる時期がくる、と気長に喘息とお付き合いしています(^-^)。弟の泰生も同じ治療下で、こちらも気長に、ひどい発作さえ起こさなければハッピーといったところですよ。弟も来春年少で入園予定です。二人とも驚くほど大きくなりました(^-^)。私がこうして二人の喘息と気長に付き合えるのも、先生に、時には厳しく！時には優しく！、色々教えて頂いたおかげです(^-^)。なんか卒業、仰げばとうとし…みたいです。近況を報告させていただきたく、メールさせて頂きました！。川村先生、スタッフの皆様もお元気でお過ごしでしょうか？。未だかわむら医院を超える医院には出会ってはいませんが…。これからもどうか頑張ってくださいませ」。引越しても当院のことを思ってくれている。本当にありがたいことです。今回のクレームメールに関しては、他にも多くの方々から頂きましたが、残念ながら掲載しきれません。全員に返事を差し上げましたが、この場を借りてもう一度お礼を述べたいと思います。皆さん、ありがとうございました!!!。



11月の感染症の集計



予防接種のお知らせ

インフルエンザワクチンの接種がはじまりました。13歳以上は1回、13歳未満では1～4週の間隔で2回接種します。接種年齢は生後6ヶ月からとなります。

接種料金(1回) 3150円(消費税込)

お母さんクラブの御案内

毎年恒例の**クリスマス会**です。スタッフや子どもたちの出し物、ピンゴゲームやクイズ、そしてサンタさんからのプレゼント。たまには、童心に帰って楽しい時間を過ごしましょう。

12月22日(木) 14:00～ 福沢市民センター 会員のみです。

水痘、おたふく、溶連菌感染症が増加し、保育園、幼稚園、学校で流行中です。季節外れの夏カゼも見られる、何かおかしな状況です。幸い現在のところ、インフルエンザはありません。

在宅休日当番

12月4日(日)

9:00～16:00 御利用ください

・年末年始休暇

12月30日(金)～1月3日(火)

御迷惑をお掛けしますが、御理解とご協力をお願いします。



12月の
お知らせ

編集後記

11月は、インフルエンザワクチンで大混雑です。1日100人の時もあります。数を減らせればいいのですが、希望も多くなかなかそうもいきません。挙げ句に看護スタッフの茂木君が一身上の都合で突然退職しました。本当に困りました。しばらくの間、御迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。



「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」(PHP研究所)
お陰様で完売致しました。再版に関しては、復刊.comへのご協力よろしく